

合唱団のしおり

■京都ミューズ主催の合唱団へようこそ！

京都新音楽協会ミューズ（京都ミューズ）は、「良い音楽を、安く、多くの人々と」をモットーに、主にクラシック音楽の演奏会を開催している、非営利の芸術鑑賞団体です。生の芸術を鑑賞する喜びを世の中に紹介し、芸術の実演家と聴衆を結び付けることにより、芸術鑑賞を「心を豊かにする『文化』」として世の中に定着させ、継続的に芸術鑑賞を楽しめる環境を作っていくことを目的としています。活動の一環として、1962年冬にベートーヴェン「第九」演奏会を開催して以来、毎年、合唱曲の演奏会を催しています。1972年からは、より幅広く音楽の魅力を発信するための取り組みとして、市民参加の合唱団を毎年結成し、一流のオーケストラ・指揮者・ソリストとの共演を実現してきました。

2022年12月9日（金）に開催される演奏会に参加するために結成されたのが、私たち“京都「第九」をうたう会”です。私たち自身も、京都ミューズの一員となり、演奏会の成功に向けて、練習に参加するだけでなく、合唱団の運営や、演奏会作りに取り組んでいくことになります。演奏会の成功に向けて、みんなで力を合わせて頑張りましょう！

このしおりには、演奏会に出演するために必要な情報が、すべて掲載されています。入団時に必ず目を通し、演奏会当日まで大切に保管してください。

例年多くの方が、初めて「第九」に挑戦されます。また、京都ミューズに初めて参加される方もいらっしゃると思います。不安に感じることも、わからないことが色々出てくるかもしれません。

初めて参加されるみなさんは、合唱団のこと、「第九」の練習のことなど、わからないことや不安なことが出てくれば、いつでもお気軽に合唱団受付や周りの“先輩”方におたずねください。

経験者のみなさんは、ご自分が初めて歌われたときのこと、初めて参加されたときのことを思い出し、ぜひ新しい仲間積極的に声をかけてあげてくださいね。

■合唱団運営は、団員全員の協力で行います

合唱団では、演奏会を作り上げるための活動として、レッスン運営や団員募集活動、団員のチケット拡販促進、長くレッスンを休まれている方のフォローなど、団運営の大部分を、団員からなる合唱団事務局を中心に、団員自身の手で行っています。団長をはじめ、受付やレッスンの進行を行っている人も、団費を支払って入団した合唱団員であり、ボランティアで運営に当たっています。

レッスンや合唱団運営に、一人ひとりが力を合わせて主体的に取り組み、自分たちの合唱団、自分たちの演奏会という意識を高めることが、演奏会の成功につながります。また、各自が少しずつ労力を出し合い、合唱団運営の経費を抑えることは、「良い音楽を、安く、多くの人々と」という、京都ミューズの活動目的にもかなうものです。

こうした趣旨から、合唱団では、全団員に、合唱団運営へのご協力をお願いしています。

合唱団運営に関わるご意見やアイデアがあるときは、受付などにお伝えください。私たちの合唱団、私たちの演奏会を、よりよいものにするため、ご協力をよろしくお願いします。

■演奏会に出演(登壇)するために

京都ミューズ主催の合唱団では、入団、演奏会出演にあたってのオーディションはありません。演奏会の成功のため、次ページの6つの条件を満たしていただくことにより、登壇が可能となります。

□1. レッスンに11回以上出席すること

合唱団として1つの音楽を作り上げるためには、全合唱団員が、可能な限り、多くの練習時間を共有することが不可欠です。特に事情のない限り、レッスンには必ずご出席ください。

規定回数は、音楽作りの上で、合唱団員が共有しなければならない、最低限の回数として設定されています。規定回数は、全レッスン回数の約半分にあたります。

※レッスンの出席回数のおさえ方は、以下の通りです。

- ・定例レッスン、定例レッスン以外の特別レッスン、指揮者レッスン ……1回
- ・午前から午後まで、連続してのレッスン(集中レッスン) ……午前・午後各1回

※いずれも、30分以上の参加をもって出席とします。

20:45までのレッスンの場合、出席の最終受付は20:15です。

◆欠席する場合の連絡について

以下に該当する場合はご連絡ください。それ以外の場合は、欠席の連絡は不要です。

1)欠席の理由が「合唱練習のための新型コロナウイルス感染防止策」プリントの【2】(1)に該当する場合。

※連絡は事後でも構いません。

※ご連絡があった場合に限り、個別に登壇条件を考慮いたします。

※体調に変化があるにも関わらず出席することは、絶対にお控えください。

2)レッスンを3週以上続けて欠席する場合。

□2. 本番指揮者レッスンに参加すること

本番指揮者レッスン(本番指揮者による直接指導のレッスン)が11月28日(月)夜に予定されています。

本番指揮者レッスンは、本番指揮者の指揮・音楽表現に触れることのできる、非常に重要な機会ですので、原則として全員参加してください。やむを得ない事情で参加できなくなった場合は、代替措置についてご相談をしますので、速やかに受付までお申し出ください。

※今年は、他団体との合同の指揮者レッスンは開催されません。

本番指揮者によるレッスンは、11月28日(月)の1回のみです。

□3. 演奏会当日のゲネプロ(リハーサル)に参加すること

演奏会当日は、演奏会に先立ち、ホールにてゲネプロが行われます。遅刻・欠席された場合は、いかなる理由があっても、演奏会に登壇することはできません。

※演奏会当日は、午後2時頃に集合予定です。集合から終演後の解散までは会場から出ることはできません。あらかじめご自身のスケジュールを調整ください。

□4. 演奏会チケットを4枚以上申し込むこと

京都ミューズの合唱団では、演奏会のチケットを団員の手で拡販し、完売・満席の演奏会とすることを、目標とします。その実現のための具体的な取り組みとして、登壇する全員が必ず4人以上の聴衆を

演奏会に呼ぶ(＝必ず4枚以上のチケットを申し込む)ものとします。

この合唱団は、芸術鑑賞団体の会員による合唱団として、単に私たち団員が音楽作りの喜びを共有するだけでなく、曲や共演するプロの音楽家の魅力、良質の音楽を鑑賞する喜びを聴衆と共有し、音楽鑑賞の喜びを文化として世の中に広めていくことを目的としています。一人でも多くの方と鑑賞の喜びを共有できるのは、「完売・満席の演奏会」です。

また京都ミューズの活動は、「良い音楽を、安く、多くの人々と」の目的のもと、基本的に非営利で行われており、演奏会チケットは採算ギリギリの価格設定になっています。したがって、活動を継続していくためには、常にチケットを完売とし、赤字を出すことなく演奏会を終えなくてはなりません。

加えて、自分のお誘いしたお客様が客席にいらっしゃること、満席の会場で演奏することは、演奏意欲をかきたてるために、非常に重要な要素になります。

以上の理由から、私たちは団員の手で完売・満席の演奏会を作ることを目指します。

しかし、全員が4枚を広めたからといって、完売になるわけではありません。4枚は、完売・満席という目標を達成するために、全員が平等に実現しなければならない条件として設定しています。何枚申し込まれた方も、残席のある限り、全員が「さらにもう一人」のお客様をお誘いすることが求められます。全員の力を合わせて、必ず完売・満席の演奏会を実現しましょう！

※U-25 団員については、必ず1人以上の聴衆をホールに呼ぶ(＝必ず1枚以上のチケットを申し込む)ものとします。

※チケット価格は例年、概ね4,000～6,000円の範囲です(価格は席種により異なります)。

※入団時に、全員にくじ引きをしていただいて、申込み順を決めます(チケットの申込みは後日行っていただきます)。チケット申込みについての詳細は、後日プリントにてご案内します。

【以前からご参加の方へ】

従来は先着順でお申込みいただいていましたが、2022 年夏公演からは先着順での申込みを取りやめ、希望する方全員がくじ引きをして順番を決める方法に変更しました。この変更により、早い時間の来場が難しい方もご希望のブロックで席を取りやすくなり、団員間の不公平感の緩和に一定の効果があったと同時に、販売初日の受付周辺の混雑緩和につながり、新型コロナ感染防止の観点からも有効でした。このくじ引きをスムーズに行うため、今回は入団時にくじを引いていただきます。

□5. 基準を満たす衣装を着用すること

合唱団では、演奏会出演に係る個人の費用負担を最小限にするため、合唱団で決めたユニフォームを全員にご購入いただくのではなく、合唱団が定める基準に合うものを、各自でご用意いただいています。

基準を定める趣旨や具体的な基準は、次のページの通りです。ご確認の上、余裕をもってご準備ください。また、衣装については、演奏会が近づきましたら相談窓口を設けます。ご自身がお持ちの衣装が基準に合うか不安な場合や、手直しをして基準に合わせたい場合などは、現物をもって窓口にご相談ください。

なお、感染対策の観点から、不織布マスク等を着用しての歌唱となる可能性もあります。その場合は指示に従ってくださいますようお願いします。

□6. 定められた期日までに全ての入金を済ませていること

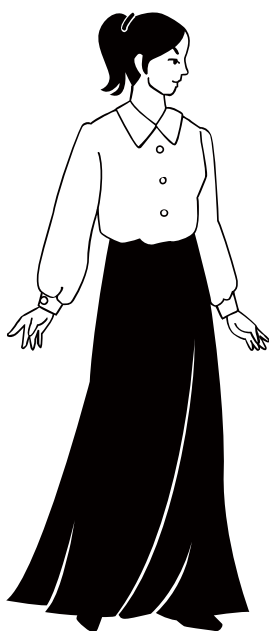
団費、チケット代、その他諸費用について、定められた期日までに入金をお済ませください。

その他、京都ミューズが主催者として、演奏会の開催・進行に支障をきたすと判断した場合には、入団・登壇をお断りすることがあります。

【演奏会衣装ガイド】

基本の考え方

- お客様を礼装でお迎えします。
- 見た目にも統一感のある演奏会にします。
⇒飾りの少ない衣装を選び、着方を統一することで、
特定の方の衣装が目立つことなく、遠目に衣装が揃って見えるようにします。
髪につけるアクセサリ（髪留め）は、髪色に馴染んで目立たない色・大きさの物を選びます。
- お客様に気持ち良く鑑賞していただけるよう、配慮します。
⇒下記「お客様に気持ち良く聴いていただくために」にまとめた注意事項を守ります。

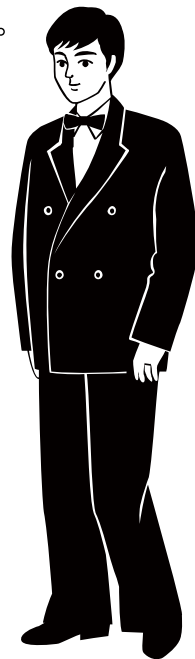


女性の衣装

- ブラウス……ボタンの色も含めて白の、長袖のもの。
袖は手首までの長さ。裾はスカートの中に入れる。
- スカート……黒無地でスリットが無いもの。
丈は、本番の靴を履いたときにくるぶしが隠れる長さ。
- 靴……飾りのない黒靴。パンプス、ローファーが望ましい。
- ストッキング等……黒で、少なくとも膝あたりまで長さのあるもの。
長さが十分なら、黒無地靴下も可。

男性の衣装

- 礼服・略礼服・黒スーツ
- Yシャツ……ボタンの色も含めて白のもの
- 蝶ネクタイ……黒無地のもの
- 靴……飾りのない黒革靴
- 靴下……黒無地のもの



お客様に気持ち良く聴いていただくために

- 結婚指輪・髪留め以外のアクセサリ及び時計は外します。
⇒舞台照明を反射し、お客様の鑑賞の妨げになることがあります。
- 肌着の透けるものや露出度の高いものなどは避けます。
⇒お客様に不快感を与える場合があります。肌着は強い舞台照明を浴びると、思っている以上に透けます。
目立たないよう、肌の色に近いものを選びましょう。

その他

- 身体的な理由で、パンプスなど礼装にふさわしい靴の着用が難しい場合は、遠目に礼装に見える、
黒色の履き慣れた靴を着用していただいて構いません。本番衣装での移動を安全に行うことを優先します。
- 上記基準に沿ったものの準備が困難な場合は、現物を持ってレッスン会場受付にご相談ください。

■演奏会では暗譜で歌います

演奏会では、曲をすべて暗譜し、楽譜を持たずに歌います。暗譜とは、歌詞や音符をはじめ、歌詞の意味や曲の流れなど、表現に関わるすべての内容を覚えることで、演奏会で指揮に集中して歌うために欠かせません。

初めて合唱をされる方は、暗譜できるのか不安もあるかと思いますが、心配はいりません。これまで、たくさんの方が、数ヶ月間の練習によって、暗譜をこなし、演奏会の舞台に立たれました。練習を積み重ねるうちに、楽譜なしで歌えるところが増えていきます。経験や年齢にとらわれず、がんばりましょう！

暗譜のためには、普段からなるべく楽譜から目を離して歌うことが大切です。間違いを恐れる必要はありません。むしろ、レッスンではどんどん間違えましょう。それによって、暗譜できていない箇所を自覚することが、早い暗譜・完全な暗譜につながります。また、日々の自主練習で、レッスンで間違ったところや不安なところを、重点的に練習しましょう。そうすれば、必ず暗譜して歌えるようになります。

自主練習の手助けとして、合唱団では、発音・対訳表をお渡しします。また、普段のレッスンの録音動画を（団員限定で）公開するとともに、希望者には音取り練習用のパートCDを販売いたします（500円をご準備のうえ受付までお申し出ください）。ご自身でも積極的にレッスンを録音し、繰り返し聴いて復習することで暗譜につなげましょう。

■録音音源の取り扱いについて

近年、曲の著作権や出演者の権利といった権利関係の問題は、社会的に非常に重大な問題となっております。また、デジタル関係の機器類の発達により、録音データを容易に頒布することが可能な状況が生まれています。こうした中で、合唱団が出演する演奏会の録音音源についても、合唱団員という限られた範囲内で管理することが、極めて難しくなっています。

それを踏まえ、出演者の全て（指揮者、ソリスト、オーケストラ）から録音配布の許諾を得ることが、非常に難しくなってきました。また、京都ミューズとしても、演奏会の録音音源等が何らかの形で合唱団外に流出した場合、出演者やその所属事務所との信頼関係に悪影響があり、今後の演奏会企画全体に支障をきたしたり、場合によっては賠償などを負ったりする可能性があります。

これらの事情を考慮した結果、京都ミューズ主催の合唱団では、演奏会の録音音源については、頒布を一切行わないこととしています。

記念に録音を入手したいという方もいらっしゃると思いますが、どうかご理解くださいますよう、よろしく願いいたします。

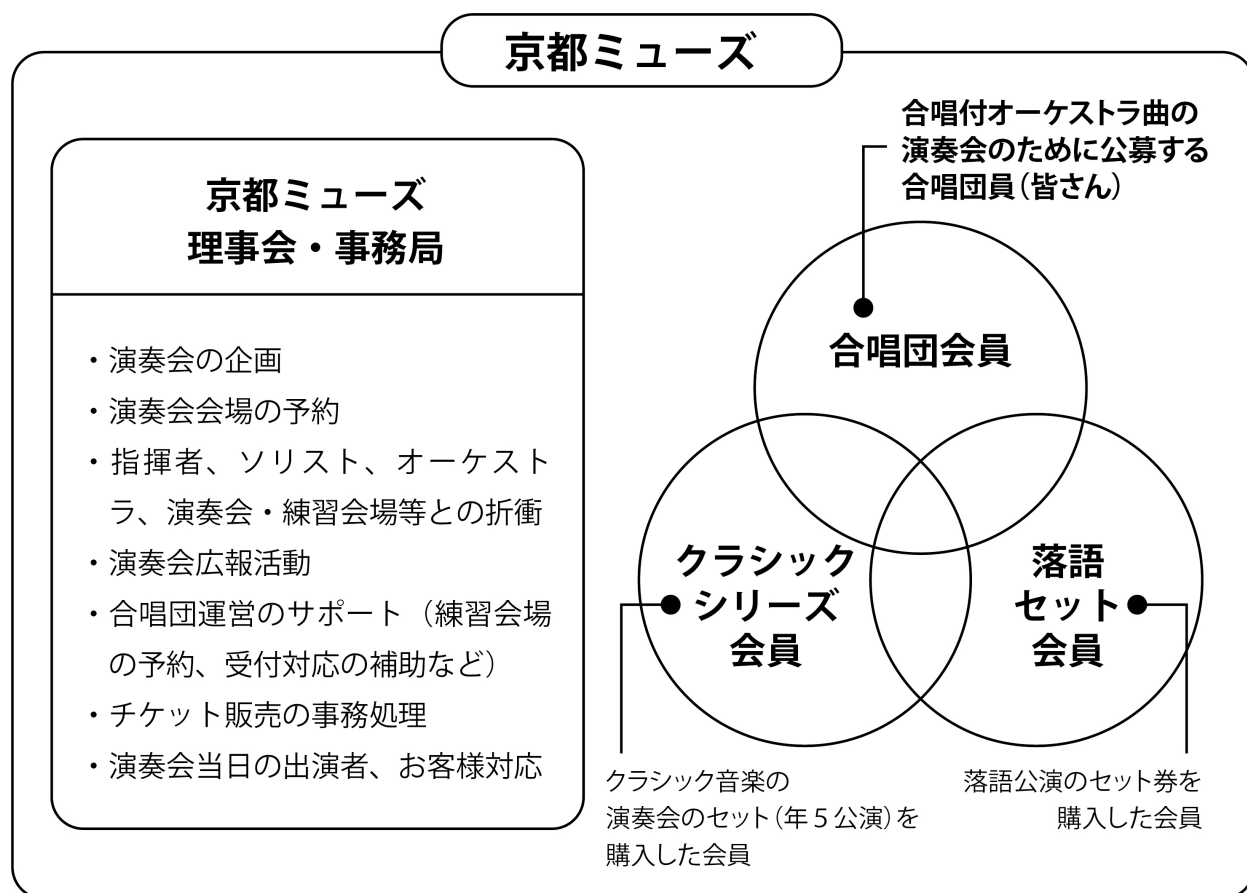
■主催者である京都ミューズの役割

合唱団は、合唱団事務局を中心に、私たち団員の手で運営します。

一方、私たちの演奏会の主催者である京都ミューズは、演奏会の企画・運営に関わる様々な役割を担っています。具体的には、演奏会の企画・年間の活動計画の立案などは京都ミューズ理事会が担当します。

また、演奏会運営に関わる日々の業務（演奏会会場の予約／指揮者・ソリスト・オーケストラなど他の出演者との折衝／チケット販売／演奏会の広報・宣伝活動など）や、演奏会当日の会場との折衝、出演者対応、お客様対応といった業務は、京都ミューズ事務局が担っています。さらに、合唱団運営に関わる部分でも、京都ミューズ事務局の方が、レッスン会場の予約、受付の対応の補助などを行ってくださっています。

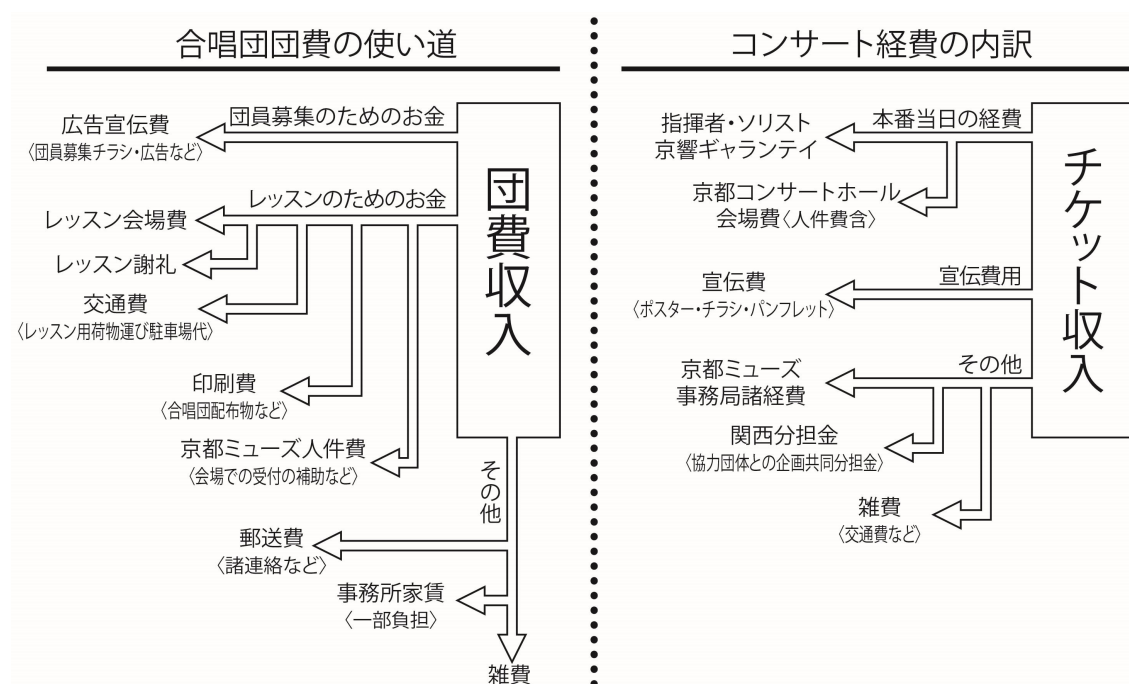
こうした連携によって、私たち合唱団は、レッスンや団員募集活動、チケット拡販に集中することが可能となっているのです。



■合唱団団費・チケット収入の使途

合唱団の団員募集やレッスン実施、運営に関する費用は、合唱団団費で賄います。

一方、演奏会の開催に必要なホール代や出演者へのギャランティなどは、チケット収入によって賄われます。



■合唱団運営に関するお問い合わせやご連絡について

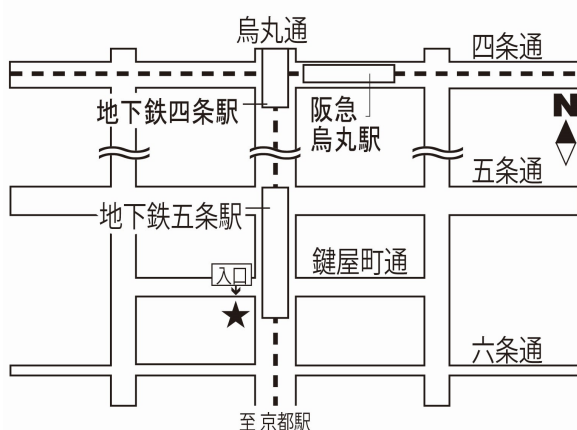
合唱団事務局員は、京都ミューズ事務所に常駐しておりません。緊急でないご連絡やお問い合わせにつきましては、レッスン会場で直接お伝えください。

次回レッスンまでに連絡が必要な場合や、何らかの事情でレッスン会場に行けない場合は、メールで合唱団事務局にご連絡ください。お電話の場合は、京都ミューズ事務所までご連絡ください。

<合唱団事務局メールアドレス>

kyotomusechor@gmail.com

京都ミューズ事務所



最寄り駅:地下鉄烏丸線「五条」

※駐車場・駐輪場はありません。ビル周辺は駐輪禁止です。

※入口はビル北側にあります。

<京都ミューズ事務所>

京都市下京区烏丸通五条下ル

大坂町 392 豊栄ビル 302

TEL:075-353-7202

受付時間:月曜～金曜 11時～17時

※京都ミューズ事務所には一般の方からの
お電話も多くかかってくるので、
ご連絡をくださる場合は、必ず「合唱団の
〇〇(お名前)です」とお申し出ください。

【公共交通機関】

京都市営地下鉄烏丸線「五条」駅

6, 8 番出口からすぐ